

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ベビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812
（土日、休日を除く） 携帯電話からは03-5524-8181
9：00～17：00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書(全体版)

しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ
米国ソブリン債ポートフォリオ
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第91期（決算日：2026年2月16日）

第92期（決算日：2026年5月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2026年5月15日に第92期の決算を行いました。

ここに、第91期から第92期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号
<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	38
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	47

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ベ ン チ マ ー ク		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率		
	円			円		%	%	百万円
83期(2024年2月15日)	9,296			45	1.2	266.37	95.9	245
84期(2024年5月15日)	9,625			45	4.0	279.72	95.9	241
85期(2024年8月15日)	9,435			45	△1.5	275.69	96.9	213
86期(2024年11月15日)	9,552			45	1.7	277.62	96.7	210
87期(2025年2月17日)	9,211			45	△3.1	270.13	96.0	190
88期(2025年5月15日)	9,329			45	1.8	277.53	96.1	189
89期(2025年8月15日)	9,823			45	5.8	292.40	96.1	192
90期(2025年11月17日)	10,244			45	4.7	309.63	96.6	186
91期(2026年2月16日)	10,409			45	2.0	315.90	96.6	184
92期(2026年5月15日)	10,347			45	△0.2	313.46	96.3	180

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

- ※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

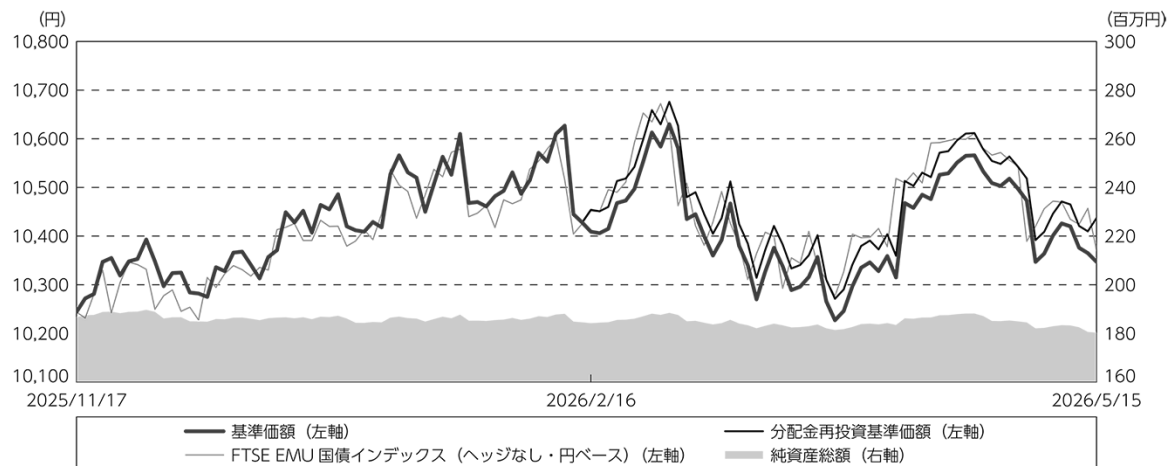
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし円ベース)	騰 落 率	
第91期	(期 首) 2025年11月17日	円 10,244	% —	ポイント 309.63	% —	% 96.6
	11月末	10,393	1.5	312.28	0.9	96.4
	12月末	10,486	2.4	314.96	1.7	96.6
	2026年1月末	10,493	2.4	316.60	2.3	96.9
	(期 末) 2026年2月16日	10,454	2.0	315.90	2.0	96.6
第92期	(期 首) 2026年2月16日	10,409	—	315.90	—	96.6
	2月末	10,584	1.7	322.57	2.1	96.2
	3月末	10,246	△1.6	312.12	△1.2	96.2
	4月末	10,473	0.6	314.02	△0.6	97.1
	(期 末) 2026年5月15日	10,392	△0.2	313.46	△0.8	96.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第91期～第92期）の運用経過等（2025年11月18日～2026年5月15日）
 <当作成期中の基準価額等の推移>



（注1） 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2） 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2025年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額変動要因

前作成期間末基準価額			10,244円
要因	外国債券	キャピタル	△179円
		インカム	136円
	為替	291円	
	小計	248円	
分配金			△90円
その他変動要因（信託報酬含む）			△55円
当作成期間末基準価額			10,347円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・米国とイラン間において地政学リスクが高まったことを背景に、安全資産とされる債券に資金が流入したことで、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。
- ・2026年2月頃、衆院選で自民党が大勝したことを受け、高市首相の掲げる積極財政への警戒感が広がり、ユーロ高円安に進行したこと。

<下落要因>

- ・中東における紛争拡大により、原油価格が高騰しインフレ懸念が高まったことで利上げ観測が高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。
- ・2026年4月末に日本政府・日銀により為替介入（ドル売り・円買い）が実施されたとみられたことで、円高が進んだこと。

<投資環境>

(欧州債券市況)

当作成期初から2025年12月中旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）の理事が利上げの可能性を示唆したことや、ECBが発表した景気予測で成長率とインフレ率の見通しを一部上方修正したことなどから、欧州国債金利は上昇しました。2026年1月下旬にかけては、ドイツが継続的に国債増発を行うことへ備える動きや、ECB理事会メンバーがユーロ高に対して金融政策面に対応する可能性がある旨の発言を行ったことで利下げ観測が高まったことなどをを受け、欧州国債金利は一進一退の動きとなりました。2月では、米国・イラン間の地政学的緊張の高まりやECB総裁の早期退任をめぐる憶測で欧州国債金利は低下しました。その後、中東での紛争拡大を背景としたインフレ懸念の高まり等により市場で利上げを織り込む動きが見られたことや、ECBが4月末に公表した3月のユーロ圏消費者のインフレ予想が大幅に上昇したことなどから、欧州国債金利は上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2026年2月上旬までは、日銀の植田総裁が今後の利上げを急がない姿勢を示したことや、衆院選の結果を受けて、高市首相の掲げる積極財政への懸念が広がり、円安基調で推移しました。その後、日本の財政懸念をめぐる過度な警戒感が後退したことに加え、1月の米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことで円高が進行する場面もありましたが、米国・イラン間の地政学リスクの高まりから、エネルギー資源の大半を輸入に頼る日本の貿易赤字が拡大するとの見方などを受け、再び円安方向に推移しました。一方で、4月末に日本政府・日銀により為替介入（ドル売り・円買い）が実施されたとみられ、急速に円高が進行しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランド、アイルランドおよびポルトガルの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.80年、時価最終利回りは3.28%となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+1.9%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.2%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜分配金＞

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第91期、第92期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	45 0.430%	45 0.433%
当期の収益	45	40
当期の収益以外	—	4
翌期繰越分配対象額	2,912	2,908

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月18日～2026年5月15日)

項 目	第91期～第92期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.512	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.270)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.024	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.536	
作成期間の平均基準価額は、10,445円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

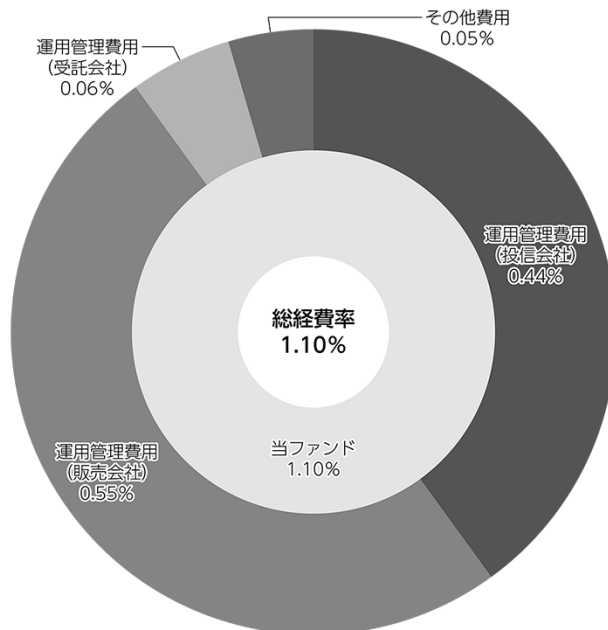
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

欧州ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第91期～第92期			
		設		解	
		口	数	口	数
		千口	千口	千口	千口
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	5,238	11,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第90期末	第92期末	
		口数	口数	評価額
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		千口	千口	千円
		89,670	84,432	177,620

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド6,633,450千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年5月15日現在)

項 目	第92期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	177,620	96.9
コール・ローン等、その他	5,659	3.1
投資信託財産総額	183,279	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切り捨て。
- (注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2026年5月15日現在における外貨建純資産(13,883,709千円)の投資信託財産総額(13,957,001千円)に対する比率は99.5%です。
- (注3) 外貨建資産は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年5月15日現在、1ユーロ＝184.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末
	2026年2月16日現在	2026年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	185,499,985	183,279,608
コール・ローン等	4,071,374	3,659,191
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	181,428,545	177,620,357
未収入金	—	2,000,000
未収利息	66	60
(B) 負債	1,284,860	2,982,918
未払収益分配金	796,414	784,122
未払解約金	—	1,731,513
未払信託報酬	485,913	464,868
その他未払費用	2,533	2,415
(C) 純資産総額(A－B)	184,215,125	180,296,690
元本	176,981,022	174,249,388
次期繰越損益金	7,234,103	6,047,302
(D) 受益権総口数	176,981,022口	174,249,388口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,409円	10,347円

- (注1) 当ポートフォリオの第91期首元本額は182,228,033円、当作成期(第91期～第92期)中における追加設定元本額は1,726,545円、同一部解約元本額は9,705,190円です。
- (注2) 1口当たりの純資産額は、第91期1.0409円、第92期1.0347円です。

○損益の状況

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	3,289	4,365
受取利息	3,289	4,365
(B) 有価証券売買損益	4,187,582	171,048
売買益	4,262,285	194,453
売買損	△ 74,703	△ 23,405
(C) 信託報酬等	△ 488,446	△ 467,283
(D) 当期損益金 (A + B + C)	3,702,425	△ 291,870
(E) 前期繰越損益金	2,983,382	5,762,811
(F) 追加信託差損益金	1,344,710	1,360,483
(配当等相当額)	(38,570,339)	(38,062,062)
(売買損益相当額)	(△37,225,629)	(△36,701,579)
(G) 計 (D + E + F)	8,030,517	6,831,424
(H) 収益分配金	△ 796,414	△ 784,122
次期繰越損益金 (G + H)	7,234,103	6,047,302
追加信託差損益金	1,344,710	1,360,483
(配当等相当額)	(38,570,626)	(38,062,918)
(売買損益相当額)	(△37,225,916)	(△36,702,435)
分配準備積立金	12,971,240	12,616,110
繰越損益金	△ 7,081,847	△ 7,929,291

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,069,645円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (38,570,626円) および分配準備積立金 (12,698,009円) より分配対象収益は52,338,280円 (10,000口当たり2,957円) であり、うち796,414円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (712,250円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (38,062,918円) および分配準備積立金 (12,687,982円) より分配対象収益は51,463,150円 (10,000口当たり2,953円) であり、うち784,122円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 金			ベ ン チ マ ー ク		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	達 配	期 騰 落 中 率	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	ポイント	%	%	百万円
83期(2024年2月15日)	11,091		45	2.0	497.32	2.4	97.2	314
84期(2024年5月15日)	11,475		45	3.9	517.21	4.0	96.9	324
85期(2024年8月15日)	11,238		45	△1.7	514.60	△0.5	97.6	311
86期(2024年11月15日)	11,622		45	3.8	526.17	2.2	97.6	314
87期(2025年2月17日)	11,291		45	△2.5	518.92	△1.4	96.9	300
88期(2025年5月15日)	10,865		45	△3.4	505.03	△2.7	97.1	283
89期(2025年8月15日)	11,163		45	3.2	517.55	2.5	96.8	286
90期(2025年11月17日)	11,813		45	6.2	557.93	7.8	97.2	303
91期(2026年2月16日)	11,804		45	0.3	560.08	0.4	97.4	296
92期(2026年5月15日)	11,954		45	1.7	566.75	1.2	96.1	300

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

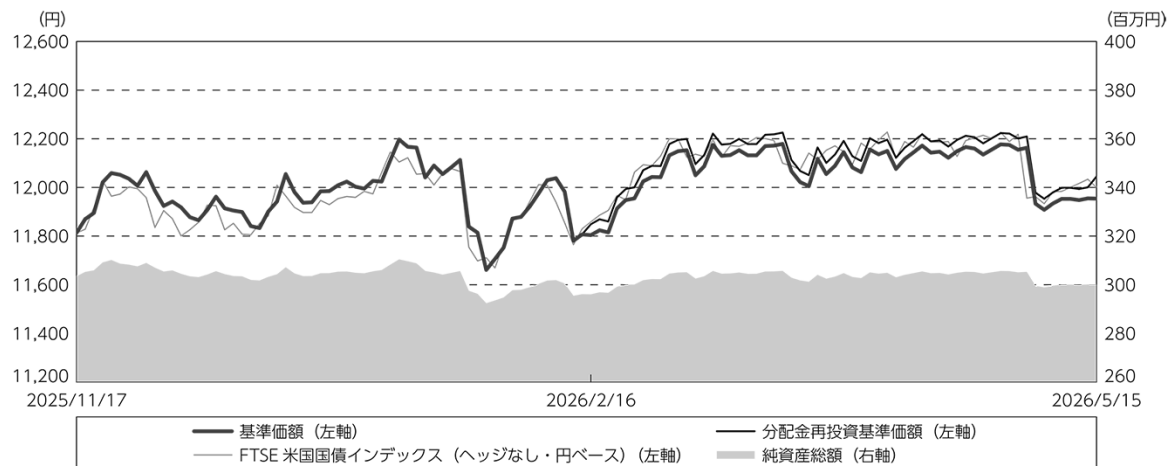
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	F T S E 米 国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	マ ー ク	債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率	
第91期	(期 首) 2025年11月17日	円	%	ポイント	%	%
		11,813	—	557.93	—	97.2
	11月末	12,063	2.1	564.79	1.2	97.5
	12月末	12,009	1.7	564.60	1.2	97.7
	2026年1月末	11,753	△0.5	555.95	△0.4	97.9
第92期	(期 末) 2026年2月16日					
		11,849	0.3	560.08	0.4	97.4
	(期 首) 2026年2月16日					
		11,804	—	560.08	—	97.4
	2月末	12,042	2.0	572.86	2.3	97.6
第92期	3月末	12,145	2.9	573.68	2.4	97.9
	4月末	12,163	3.0	564.69	0.8	97.9
	(期 末) 2026年5月15日					
		11,999	1.7	566.75	1.2	96.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○当作成期中（第91期～第92期）の運用経過等（2025年11月18日～2026年5月15日） <当作成期中の基準価額等の推移>



（注1） 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2） 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、作成期首（2025年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額変動要因

前作成期間末基準価額			11,813円
要因	外国債券	キャピタル	△163円
		インカム	170円
	為替		290円
	小計		297円
分配金			△90円
その他変動要因（信託報酬含む）			△66円
当作成期間末基準価額			11,954円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・米国とイラン間において地政学リスクが高まったことを背景に、安全資産とされる債券に資金が流入したことで、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・日銀による利上げ観測の後退や、米連邦準備制度理事会（F R B）による米利下げ観測が後退したことなどから、ドル高円安が進行したこと。

<下落要因>

- ・中東における紛争拡大により、原油価格が高騰し、インフレ懸念が高まったことで利上げ観測が高まり、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・2026年4月末に日本政府・日銀により為替介入が実施されたとみられたことを背景に、円高が進んだこと。

<投資環境>

(米国国債市況)

当作成期初から2026年1月末にかけては、消費や雇用に関する複数の経済指標が良好な内容となったことに加え、トランプ大統領が利下げに積極的であると見られていたハセット氏を次期F R B議長に任命しない意向を示したことなどから、米国債金利は上昇基調で推移しました。2月には、経済の減速を示唆する経済指標が発表されたことや、米国・イラン間の地政学リスクの高まりを受けて、同金利は低下しました。一方、3月に入り、中東の紛争をきっかけとする原油価格の上昇により、インフレが加速するとの懸念から、同金利は上昇しました。その後、米国とイランが停戦に合意したものの、原油価格の先高観が根強く、米国債金利は一進一退の動きとなりましたが、当作成期末にかけて、中東のエネルギー供給の混乱をめぐる懸念から原油価格が急騰し、インフレ圧力の抑制のためF R Bが利上げを余儀なくされる可能性があるとの見方を背景に同金利は上昇しました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から2026年1月中旬にかけては、日銀の植田総裁が今後の利上げを急がない姿勢を示したことや、米利下げ観測の後退などから円安基調で推移しましたが、1月下旬に日米の通貨当局が為替介入の準備段階にあたる「レートチェック」に動いたとの観測が市場で広がり、円高方向へ急速に進行しました。2月後半以降では、米国とイスラエルがイランを攻撃したことを受け、有事のドル買いが優勢となり、ドル高円安が進行しました。その後、米国とイランの戦闘終結に向けた協議が再開するとの期待が高まった一方で、日銀による利上げ観測の後退やF R Bによる利下げ観測が後退したことから揉み合う展開となりましたが、4月末に日本政府・日銀により為替介入が実施されたとみられ、急速に円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国のインフレが加速している兆候が示唆される経済指標が発表されたことで米利下げ観測が市場で後退し、ドル高が進行しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末時点におけるファンドの修正デュレーションは5.78年、時価最終利回りは4.32%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+2.0%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.6%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜分配金＞

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第91期、第92期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.380%	0.375%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	4,649	4,782

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月18日～2026年5月15日)

項 目	第91期～第92期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	62	0.512	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(26)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.270)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.527	
作成期間の平均基準価額は、12,029円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

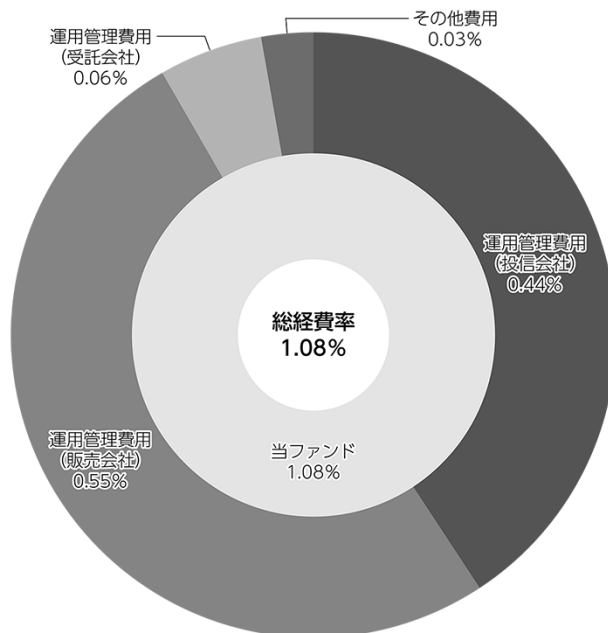
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

米国ソブリン債ポートフォリオ

○売買及び取引の状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第91期～第92期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 4,075	千円 10,000

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年5月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第90期末	第92期末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	千口 123,953	千口 119,878	千円 297,011

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド5,624,431千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年5月15日現在)

項 目	第92期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	297,011	98.3
コール・ローン等、その他	5,013	1.7
投資信託財産総額	302,024	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2026年5月15日現在における外貨建純資産(13,897,627千円)の投資信託財産総額(13,937,149千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年5月15日現在、1ドル=158.56円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末
	2026年2月16日現在	2026年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	297,980,617	302,024,883
コール・ローン等	4,633,401	5,013,295
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	293,347,140	297,011,506
未収利息	76	82
(B) 負債	1,927,690	1,897,130
未払収益分配金	1,128,627	1,129,781
未払解約金	3,115	—
未払信託報酬	791,811	763,365
その他未払費用	4,137	3,984
(C) 純資産総額(A-B)	296,052,927	300,127,753
元本	250,806,002	251,062,601
次期繰越損益金	45,246,925	49,065,152
(D) 受益権総口数	250,806,002口	251,062,601口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,804円	11,954円

(注1) 当ポートフォリオの第91期首元本額は256,899,732円、当作成期(第91期～第92期)中における追加設定元本額は1,806,232円、同一部解約元本額は7,643,363円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第91期1.1804円、第92期1.1954円です。

○損益の状況

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	3,301	4,271
受取利息	3,301	4,271
(B) 有価証券売買損益	1,683,029	5,657,238
売買益	1,837,407	5,664,366
売買損	△ 154,378	△ 7,128
(C) 信託報酬等	△ 795,948	△ 767,349
(D) 当期損益金 (A + B + C)	890,382	4,894,160
(E) 前期繰越損益金	64,244,739	63,928,920
(F) 追加信託差損益金	△18,759,569	△18,628,147
(配当等相当額)	(52,189,337)	(52,388,306)
(売買損益相当額)	(△70,948,906)	(△71,016,453)
(G) 計 (D + E + F)	46,375,552	50,194,933
(H) 収益分配金	△ 1,128,627	△ 1,129,781
次期繰越損益金 (G + H)	45,246,925	49,065,152
追加信託差損益金	△18,759,569	△18,628,147
(配当等相当額)	(52,190,592)	(52,388,663)
(売買損益相当額)	(△70,950,161)	(△71,016,810)
分配準備積立金	64,423,538	67,693,299
繰越損益金	△ 417,044	—

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,307,426円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (52,190,592円) および分配準備積立金 (64,244,739円) より分配対象収益は117,742,757円 (10,000口当たり4,694円) であり、うち1,128,627円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,896,756円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (2,580,867円)、信託約款に規定する収益調整金 (52,388,663円) および分配準備積立金 (64,345,457円) より分配対象収益は121,211,743円 (10,000口当たり4,827円) であり、うち1,129,781円 (10,000口当たり45円) を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ベンチマーク		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率	期 騰 落 中 率		
	円		円	%	ポイント	%	%	百万円
83期(2024年2月15日)	10,055		45	1.6	21,076.47	2.1	97.4	529
84期(2024年5月15日)	10,411		45	4.0	22,027.91	4.5	97.4	542
85期(2024年8月15日)	10,201		45	△1.6	21,816.32	△1.0	98.0	526
86期(2024年11月15日)	10,439		45	2.8	22,139.13	1.5	97.6	536
87期(2025年2月17日)	10,103		45	△2.8	21,690.46	△2.0	97.3	512
88期(2025年5月15日)	9,977		45	△0.8	21,698.28	0.0	97.2	507
89期(2025年8月15日)	10,385		45	4.5	22,551.41	3.9	97.6	521
90期(2025年11月17日)	10,911		45	5.5	24,097.16	6.9	97.5	533
91期(2026年2月16日)	10,996		45	1.2	24,389.66	1.2	97.3	532
92期(2026年5月15日)	11,034		45	0.8	24,446.76	0.2	96.6	532

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

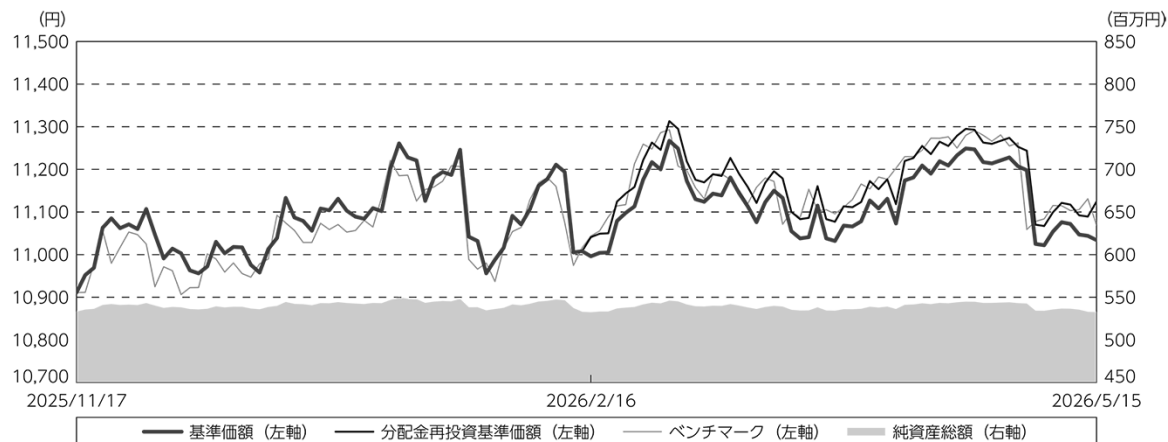
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	ベ ン チ	マ ー ク	債 券
			騰 落 率			組 入 比 率
第91期	(期 首)	円	%	ポイント	%	%
	2025年11月17日	10,911	—	24,097.16	—	97.5
	11月末	11,107	1.8	24,348.63	1.0	97.3
	12月末	11,131	2.0	24,449.63	1.5	97.5
	2026年1月末	11,016	1.0	24,325.73	0.9	97.9
	(期 末)					
第92期	2026年2月16日	11,041	1.2	24,389.66	1.2	97.3
	(期 首)					
	2026年2月16日	10,996	—	24,389.66	—	97.3
	2月末	11,200	1.9	24,925.66	2.2	97.3
	3月末	11,068	0.7	24,539.53	0.6	97.5
	4月末	11,198	1.8	24,423.80	0.1	97.6
	(期 末)					
	2026年5月15日	11,079	0.8	24,446.76	0.2	96.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当作成期中（第91期～第92期）の運用経過等（2025年11月18日～2026年5月15日）
 <当作成期中の基準価額等の推移>



（注1） 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2） 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2025年11月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額変動要因

前作成期間末基準価額			10,911円
要因	外国債券	キャピタル	△172円
		インカム	152円
	為替	ドル	136円
		ユーロ	155円
	小計		271円
分配金			△90円
その他変動要因（信託報酬含む）			△58円
当作成期間末基準価額			11,034円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・米国とイラン間において地政学リスクが高まったことを背景に、安全資産とされる債券に資金が流入したことで、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。
- ・2026年2月頃、衆院選で自民党が大勝したことを受け、高市首相の掲げる積極財政への警戒感が広がり、ユーロ高円安に進行したこと。

<下落要因>

- ・中東における紛争拡大により、原油価格が高騰しインフレ懸念が高まったことで利上げ観測が高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。
- ・2026年4月末に日本政府・日銀により為替介入（ドル売り・円買い）が実施されたとみられたことで、円高が進んだこと。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・米国とイラン間において地政学リスクが高まったことを背景に、安全資産とされる債券に資金が流入したことで、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・日銀による利上げ観測の後退や、米連邦準備制度理事会（F R B）による米利下げ観測が後退したことなどから、ドル高円安が進行したこと。

<下落要因>

- ・中東における紛争拡大により、原油価格が高騰し、インフレ懸念が高まったことで利上げ観測が高まり、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・2026年4月末に日本政府・日銀により為替介入が実施されたとみられたことを背景に、円高が進んだこと。

<投資環境>

（欧州債券市況）

当作成期初から2025年12月中旬にかけては、欧州中央銀行（E C B）の理事が利上げの可能性を示唆したことや、E C Bが発表した景気予測で成長率とインフレ率の見通しを一部上方修正したことなどから、欧州国債金利は上昇しました。2026年1月下旬にかけては、ドイツが継続的に国債増発を行うことへ備える動きや、E C B理事会メンバーがユーロ高に対して金融政策面に対応する可能性がある旨の発言を行ったことで利下げ観測が高まったことなどをを受け、欧州国債金利は一進一退の動きとなりました。2月では、米国・イラン間の地政学的緊張の高まりやE C B総裁の早期退任をめぐる憶測で欧州国債金利は低下しました。その後、中東での紛争拡大を背景としたインフレ懸念の高まり等により市場で利上げを織り込む動きが見られたことや、E C Bが4月末に公表した3月のユーロ圏消費者のインフレ予想が大幅に上昇したことなどから、欧州国債金利は上昇しました。

（米国国債市況）

当作成期初から2026年1月末にかけては、消費や雇用に関する複数の経済指標が良好な内容となったことに加え、トランプ大統領が利下げに積極的であると見られていたハセット氏を次期F R B議長に任命しない意向を示したことなどから、米国債金利は上昇基調で推移しました。2月には、経済の減速を示唆する経済指標が発表されたことや、米国・イラン間の地政学リスクの高まりを受けて、同金利は低下しました。一方、3月に入り、中東の紛争をきっかけとする原油価格の上昇により、インフレが加速するとの懸念から、同金利は上昇しました。その後、米国とイランが停戦に合意したものの、原油価格の先高観が根強く、米国債金利は一

欧米ソブリン債ポートフォリオ

進一退の動きとなりましたが、当作成期末にかけて、中東のエネルギー供給の混乱をめぐる懸念から原油価格が急騰し、インフレ圧力の抑制のためF R Bが利上げを余儀なくされる可能性があるとの見方を背景に同金利は上昇しました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当作成期初から2026年2月上旬までは、日銀の植田総裁が今後の利上げを急がない姿勢を示したことや、衆院選の結果を受けて、高市首相の掲げる積極財政への懸念が広がり、円安基調で推移しました。その後、日本の財政懸念をめぐる過度な警戒感が後退したことに加え、1月の米消費者物価指数（C P I）が市場予想を下回ったことで円高が進行する場面もありましたが、米国・イラン間の地政学リスクの高まりから、エネルギー資源の大半を輸入に頼る日本の貿易赤字が拡大するとの見方などを受け、再び円安方向に推移しました。一方で、4月末に日本政府・日銀により為替介入（ドル売り・円買い）が実施されたとみられ、急速に円高が進行しました。

（為替市況：ドル円市場）

当作成期初から2026年1月中旬にかけては、日銀の植田総裁が今後の利上げを急がない姿勢を示したことや、米利下げ観測の後退などから円安基調で推移しましたが、1月下旬に日米の通貨当局が為替介入の準備段階にあたる「レートチェック」に動いたとの観測が市場で広がり、円高方向へ急速に進行しました。2月後半以降では、米国とイスラエルがイランを攻撃したことを受け、有事のドル買いが優勢となり、ドル高円安が進行しました。その後、米国とイランの戦闘終結に向けた協議が再開するとの期待が高まった一方で、日銀による利上げ観測の後退やF R Bによる利下げ観測が後退したことから揉み合う展開となりましたが、4月末に日本政府・日銀により為替介入が実施されたとみられ、急速に円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国のインフレが加速している兆候が示唆される経済指標が発表されたことで米利下げ観測が市場で後退し、ドル高が進行しました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランド、アイルランドおよびポルトガルの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.80年、時価最終利回りは3.28%となっています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米回国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末時点におけるファンドの修正デュレーションは5.78年、時価最終利回りは4.32%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米回国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+2.0%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜分配金＞

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第91期、第92期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	45 0.408%	45 0.406%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,015	2,052

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月18日～2026年5月15日)

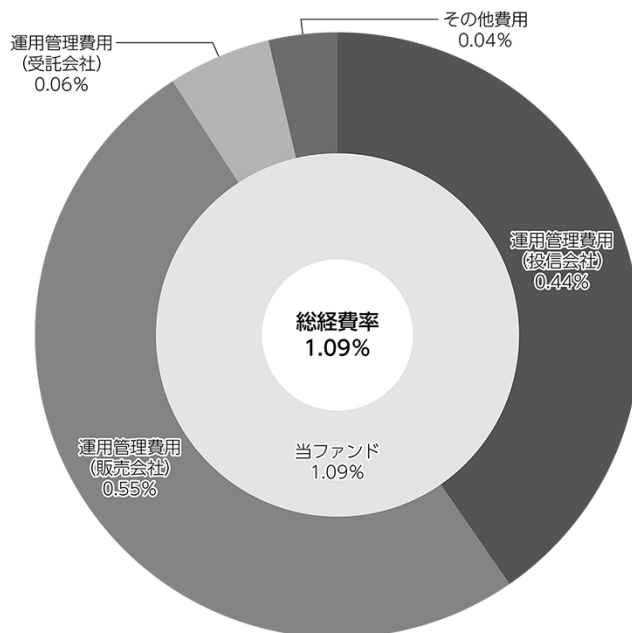
項 目	第91期～第92期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	57	0.512	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(24)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.270)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.531	
作成期間の平均基準価額は、11,120円です。			

- (注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第91期～第92期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	2,106	4,500
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	3,857	9,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年11月18日～2026年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第90期末	第92期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		127,683	125,577	264,177
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		110,353	106,496	263,854

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド6,633,450千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド5,624,431千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年5月15日現在)

項 目	第92期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	264,177	49.1
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	263,854	49.0
コール・ローン等、その他	10,274	1.9
投資信託財産総額	538,305	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2026年5月15日現在における外貨建純資産（13,883,709千円）の投資信託財産総額（13,957,001千円）に対する比率は99.5%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2026年5月15日現在における外貨建純資産（13,897,627千円）の投資信託財産総額（13,937,149千円）に対する比率は99.7%です。

(注4) 外貨建資産は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年5月15日現在、1ドル＝158.56円、1ユーロ＝184.75円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末
	2026年2月16日現在	2026年5月15日現在
	円	円
(A) 資産	540,541,573	538,305,809
コール・ローン等	12,865,248	8,273,515
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	263,900,906	264,177,176
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	263,775,208	263,854,982
未収入金	—	2,000,000
未収利息	211	136
(B) 負債	8,169,724	5,837,386
未払収益分配金	2,178,604	2,171,545
未払解約金	4,573,261	2,300,906
未払信託報酬	1,410,466	1,357,820
その他未払費用	7,393	7,115
(C) 純資産総額(A－B)	532,371,849	532,468,423
元本	484,134,373	482,565,728
次期繰越損益金	48,237,476	49,902,695
(D) 受益権総口数	484,134,373口	482,565,728口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,996円	11,034円

(注1) 当ポートフォリオの第91期首元本額は488,537,413円、当作成期（第91期～第92期）中における追加設定元本額は3,225,073円、同一部解約元本額は9,196,758円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第91期1.0996円、第92期1.1034円です。

○損益の状況

項 目	第91期	第92期
	2025年11月18日～ 2026年2月16日	2026年2月17日～ 2026年5月15日
	円	円
(A) 配当等収益	5,427	7,287
受取利息	5,427	7,287
(B) 有価証券売買損益	7,708,399	5,337,135
売買益	7,792,307	5,356,044
売買損	△ 83,908	△ 18,909
(C) 信託報酬等	△ 1,417,859	△ 1,364,935
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,295,967	3,979,487
(E) 前期繰越損益金	54,742,577	58,538,821
(F) 追加信託差損益金	△10,622,464	△10,444,068
(配当等相当額)	(38,708,206)	(38,717,603)
(売買損益相当額)	(△49,330,670)	(△49,161,671)
(G) 計 (D + E + F)	50,416,080	52,074,240
(H) 収益分配金	△ 2,178,604	△ 2,171,545
次期繰越損益金 (G + H)	48,237,476	49,902,695
追加信託差損益金	△10,622,464	△10,444,068
(配当等相当額)	(38,709,918)	(38,718,293)
(売買損益相当額)	(△49,332,382)	(△49,162,361)
分配準備積立金	58,859,940	60,346,763

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,979,335円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(3,316,632円)、信託約款に規定する収益調整金(38,709,918円)および分配準備積立金(54,742,577円)より分配対象収益は99,748,462円(10,000口当たり2,060円)であり、うち2,178,604円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,754,456円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(1,225,031円)、信託約款に規定する収益調整金(38,718,293円)および分配準備積立金(58,538,821円)より分配対象収益は101,236,601円(10,000口当たり2,097円)であり、うち2,171,545円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ



1 万口当たり分配金（税込み）

	第91期	第92期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

（注1） 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。

（注2） 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

<約款変更のお知らせ>

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更したため、投資信託約款に所要の変更を行いました。（2026年4月1日実施）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2026年5月15日現在)

<しんきん欧州ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(6,633,450千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第92期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	14,100	14,024	2,591,098	18.6	—	15.4	3.1	—
イタリア	17,900	17,953	3,316,894	23.8	—	15.8	8.0	—
フランス	19,100	17,973	3,320,682	23.8	—	20.9	0.3	2.6
オランダ	3,350	2,845	525,733	3.8	—	3.6	0.1	—
スペイン	11,300	11,537	2,131,469	15.3	—	8.8	4.8	1.7
ベルギー	3,900	3,608	666,623	4.8	—	4.0	0.6	0.1
オーストリア	2,900	2,485	459,109	3.3	—	2.3	0.5	0.5
フィンランド	1,000	982	181,571	1.3	—	1.3	—	—
アイルランド	1,000	963	177,933	1.3	—	1.3	—	—
ポルトガル	1,500	1,460	269,772	1.9	—	1.9	—	—
合 計	76,050	73,834	13,640,889	97.7	—	75.3	17.4	5.0

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第92期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	1,300	1,126	208,161	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	2,062	381,107	2029/2/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,400	3,184	588,394	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	2,000	1,959	362,033	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,200	3,456	638,652	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	300	312	57,821	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	1,700	1,921	354,927	2034/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.950 08/01/30	0.95	2,200	2,018	372,935	2030/8/1
		BTPS 2.500 12/01/32	2.5	1,200	1,140	210,688	2032/12/1
		BTPS 2.800 12/01/28	2.8	3,000	2,998	553,996	2028/12/1
		BTPS 3.350 07/01/29	3.35	1,000	1,011	186,926	2029/7/1
		BTPS 3.450 07/15/31	3.45	2,600	2,631	486,166	2031/7/15
		BTPS 3.850 07/01/34	3.85	3,200	3,259	602,281	2034/7/1
		BTPS 4.050 10/30/37	4.05	2,100	2,132	393,954	2037/10/30
		BTPS 4.500 10/01/53	4.5	1,000	998	184,514	2053/10/1
フランス	国債証券	BTPS 5.000 08/01/39	5.0	1,600	1,761	325,429	2039/8/1
		FRTR 0.000 11/25/31	—	2,800	2,356	435,288	2031/11/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	1,000	844	155,964	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,700	2,146	396,630	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	3,000	2,779	513,420	2031/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	200	196	36,278	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	2,000	1,999	369,404	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	900	786	145,384	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	3,300	3,330	615,383	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	1,300	1,365	252,293	2041/4/25
オランダ	国債証券	FRTR 5.750 10/25/32	5.75	1,900	2,168	400,633	2032/10/25
		NETHER 0.000 07/15/31	—	450	389	71,887	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	100	92	17,108	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,300	893	165,117	2040/1/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	1,400	1,363	251,826	2033/1/15
スペイン	国債証券	NETHER 4.000 01/15/37	4.0	100	107	19,792	2037/1/15
		SPGB 0.800 07/30/29	0.8	1,100	1,033	190,959	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	1,300	1,286	237,744	2027/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	2,700	2,605	481,338	2030/7/30
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	500	473	87,525	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,200	3,387	625,862	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,500	2,749	508,039	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/27	0.8	100	98	18,120	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	500	471	87,196	2029/6/22
		BGB 1.450 06/22/37	1.45	100	79	14,768	2037/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	900	572	105,824	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,268	234,314	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,000	1,117	206,399	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	400	349	64,544	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	100	98	18,134	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	300	290	53,632	2028/2/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	900	609	112,638	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,200	1,137	210,158	2034/5/23

参考情報

銘柄			第92期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
	フィンランド	国債証券 RFGB 3.000 09/15/34	3.0	1,000	982	181,571	2034/9/15
	アイルランド	国債証券 IRISH 2.600 10/18/34	2.6	1,000	963	177,933	2034/10/18
	ポルトガル	国債証券 PGB 2.875 10/20/34	2.875	1,500	1,460	269,772	2034/10/20
合 計						13,640,889	

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(5,624,431千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第92期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	93,350	85,338	13,531,231	97.1	—	49.5	36.0	11.6
合 計	93,350	85,338	13,531,231	97.1	—	49.5	36.0	11.6

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第92期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	1,500	990	157,132	2041/8/15
		T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	3,000	2,028	321,678	2046/5/15
		T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	1,650	1,210	191,925	2047/2/15
		T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	3,600	2,894	458,882	2042/2/15
		T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,100	2,295	363,909	2048/5/15
		T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,000	1,782	282,596	2039/2/15
		T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	3,200	2,680	425,039	2044/2/15
		T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	2,876	456,039	2040/5/15
		T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	1,600	1,637	259,572	2037/2/15
		T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	2,100	2,171	344,239	2029/2/15
		T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,013	160,656	2026/11/15
		T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	2,200	1,901	301,548	2030/8/15
		T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	4,000	3,468	550,005	2030/11/15
		T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,800	3,278	519,821	2031/8/15
		T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	4,800	4,137	656,022	2031/11/15
		T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	3,000	2,731	433,147	2030/2/15
		T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	4,600	4,261	675,726	2029/8/15
		T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	4,600	4,484	710,999	2027/11/15
		T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,100	2,022	320,723	2029/2/15
		T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	5,900	5,771	915,186	2028/11/15
		T-NOTE 3.500 02/15/33	3.5	2,700	2,575	408,328	2033/2/15
		T-NOTE 4.000 11/15/35	4.0	2,800	2,699	428,082	2035/11/15
		T-NOTE 4.125 02/15/36	4.125	1,200	1,167	185,039	2036/2/15
		T-NOTE 4.250 08/15/35	4.25	4,500	4,432	702,789	2035/8/15
		T-NOTE 4.250 11/15/34	4.25	1,100	1,087	172,481	2034/11/15
		T-NOTE 4.375 05/15/34	4.375	1,800	1,800	285,474	2034/5/15

参考情報

銘柄			第92期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
	特殊債券 (除く金融債)	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,896	776,466	2030/ 1/24
		ASIA 4.125 05/30/2030	4.125	3,000	2,999	475,620	2030/ 5/30
		IADB 4.125 02/15/29	4.125	1,400	1,401	222,259	2029/ 2/15
		IADB 4.375 07/17/34	4.375	2,000	1,994	316,319	2034/ 7/17
		IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	2,093	331,967	2027/11/24
		IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,576	408,605	2026/10/27
		IBRD 4.000 05/06/2032	4.0	2,000	1,973	312,943	2032/ 5/ 6
合 計						13,531,231	

(注1) 邦貨換算金額は、2026年5月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第23期

(決算日：2026年2月9日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第23期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投 資 制 限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落	中率	
	円	%	ポイント	%	%	百万円
19期(2022年2月8日)	16,661	△ 1.9	244.25	△ 2.1	98.3	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△ 9.7	225.13	△ 7.8	98.2	12,701
21期(2024年2月8日)	17,508	16.4	264.17	17.3	98.0	13,585
22期(2025年2月10日)	17,776	1.5	268.12	1.5	98.5	12,561
23期(2026年2月9日)	21,332	20.0	320.42	19.5	98.1	14,489

○当期中の基準価額と市況等の推移

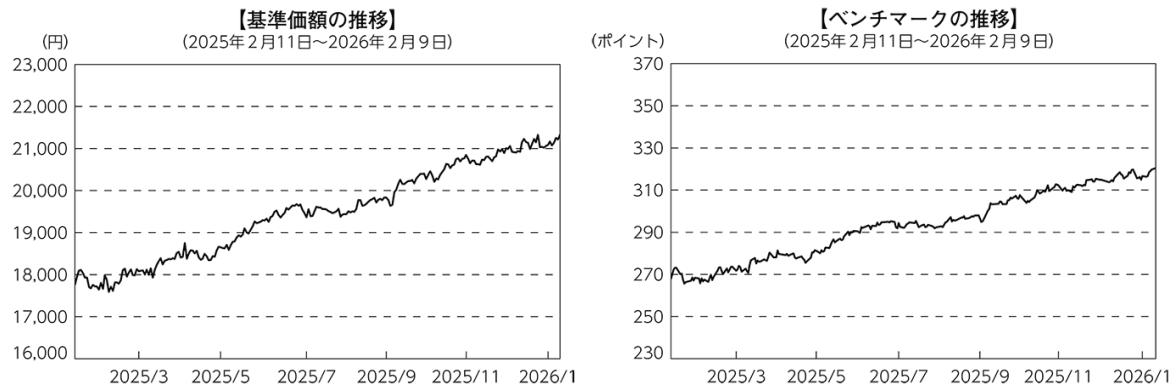
年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率
	騰落	率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落	率
(期首) 2025年2月10日	円 17,776	% —	ポイント 268.12	% —	% 98.5
2月末	17,647	△ 0.7	268.43	0.1	98.1
3月末	18,083	1.7	271.70	1.3	98.0
4月末	18,412	3.6	278.08	3.7	97.9
5月末	18,650	4.9	281.26	4.9	97.9
6月末	19,294	8.5	290.46	8.3	97.9
7月末	19,370	9.0	294.40	9.8	98.3
8月末	19,442	9.4	292.42	9.1	96.5
9月末	19,834	11.6	296.61	10.6	98.2
10月末	20,460	15.1	306.73	14.4	98.2
11月末	20,847	17.3	312.28	16.5	97.9
12月末	21,056	18.5	314.96	17.5	97.9
2026年1月末	21,086	18.6	316.60	18.1	98.3
(期末) 2026年2月9日	21,332	20.0	320.42	19.5	98.1

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第23期の運用経過等（2025年2月11日～2026年2月9日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・当期間中、欧州中央銀行（ECB）による利下げが終わりに近づいていることが意識され、ユーロ高円安が進んだこと。
- ・2025年10月頃から、高市新政権が掲げる積極財政による日本の財政悪化懸念が広がったことで、ユーロ高円安が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2025年3月、ドイツ政府における大規模財政支出計画による国債増発への懸念が高まったことや、ECBの利下げ見通しが不透明であったこと等を背景に、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。
- ・2025年12月、ECB高官が次の政策変更は利上げとなる可能性があるとの見方を示したことや、ECBが発表した景気予測の一部を上方修正したこと等を背景に、市場で金融緩和サイクルが終了したとの見方が広がったことで、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

＜投資環境＞

（欧州債券市況）

当期初から2025年3月にかけて、ドイツのキリスト教民主同盟（CDU）と社会民主党（SPD）が、政府支出の大幅な増加と債務規制の見直しに合意したことを受け、ドイツの国債発行が増加するとの見方が市場で高まり、欧州国債金利は上昇しました。4月から9月にかけては、トランプ政権による関税政策の不透明感から欧州国債金利が乱高下した中で、ラガルドECB総裁が記者会見において、金融サイクルが終わりに近づいている可能性を示唆したことで、市場で追加利下げ観測が後退し、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。その後は、フランスにおける政治不安や米国の利下げ期待の高まりを背景に、欧州国債金利は低下する場面があったものの、12月頃にECB高官が次の政策変更は利上げとなる可能性があるとの見方を示したことや、ECBが発表した景気予測の一部を上方修正したことで、市場で金融緩和サイクルが終了したとの見方が広がり、欧州国債金利は上昇基調で推移しました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当期初から2025年7月にかけて、ラガルドECB総裁が金融緩和サイクルの終わりを示唆したことや、日本の参議院選挙の動向を受けた国内政治の不透明感から、ユーロ高円安で推移しました。その後も、当期末にかけては、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、積極財政による財政悪化懸念が広がったことや、ECB高官が次の政策変更は利上げとなる可能性があるとの見方を示したこと等から、ユーロ高円安がさらに進行しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランドおよびアイルランドの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2026年2月9日現在におけるファンドの修正デュレーションは6.87年、時価最終利回りは2.95%となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+20.0%となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+19.5%でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025 年 2 月 11 日～2026 年 2 月 9 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 8	% 0.043	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	8	0.043	
期中の平均基準価額は、19,515円です。			

(注 1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注 2) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 3 位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2025 年 2 月 11 日～2026 年 2 月 9 日)

公社債

	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ドイツ	国債証券	1,632	2,749
	イタリア	国債証券	3,060	3,350
	フランス	国債証券	2,169	2,031
	オランダ	国債証券	408	575
	スペイン	国債証券	2,144	1,845
	ベルギー	国債証券	408	573
	オーストリア	国債証券	533	662

(注 1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)
(注 2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025 年 2 月 11 日～2026 年 2 月 9 日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月9日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	14,150	14,214	2,638,864	18.2	—	14.8	3.4	—
イタリア	18,400	18,846	3,498,933	24.1	—	15.5	8.6	—
フランス	19,000	18,174	3,374,041	23.3	—	19.5	0.3	3.5
オランダ	3,600	3,088	573,470	4.0	—	3.7	0.1	0.1
スペイン	11,850	12,233	2,271,107	15.7	—	9.0	4.7	2.0
ベルギー	4,100	3,849	714,714	4.9	—	3.9	0.6	0.4
オーストリア	3,150	2,727	506,372	3.5	—	3.0	0.4	0.1
フィンランド	1,000	999	185,568	1.3	—	1.3	—	—
アイルランド	1,000	975	181,029	1.2	—	1.2	—	—
ポルトガル	1,500	1,485	275,749	1.9	—	1.9	—	—
合 計	77,750	76,594	14,219,851	98.1	—	73.9	18.1	6.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第 23 期ー

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,000	1,752	325,403	2031/ 8 /15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,200	2,078	385,928	2029/ 2 /15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,200	3,043	564,961	2032/ 8 /15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,500	1,496	277,912	2042/ 7 / 4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,000	3,297	612,255	2037/ 1 / 4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	550	583	108,402	2028/ 7 / 4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	1,700	1,960	364,001	2034/ 7 / 4
イタリア	国債証券	BTPS 0.950 08/01/30	0.95	2,200	2,045	379,822	2030/ 8 / 1
		BTPS 2.500 12/01/32	2.5	1,200	1,163	216,001	2032/12/ 1
		BTPS 2.800 12/01/28	2.8	3,000	3,040	564,396	2028/12/ 1
		BTPS 3.350 07/01/29	3.35	1,600	1,646	305,636	2029/ 7 / 1
		BTPS 3.450 07/15/31	3.45	2,600	2,684	498,387	2031/ 7 /15
		BTPS 3.850 07/01/34	3.85	3,200	3,341	620,418	2034/ 7 / 1
		BTPS 4.050 10/30/37	4.05	2,100	2,190	406,712	2037/10/30
		BTPS 4.500 10/01/53	4.5	1,000	1,032	191,684	2053/10/ 1
フランス	国債証券	BTPS 5.000 08/01/39	5.0	1,500	1,701	315,874	2039/ 8 / 1
		FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	2,125	394,522	2031/11/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	1,000	855	158,905	2034/ 5 /25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,500	2,015	374,210	2036/ 5 /25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	3,000	2,816	522,923	2031/ 5 /25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	200	199	37,005	2030/ 5 /25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	2,700	2,726	506,135	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	1,200	1,064	197,605	2045/ 5 /25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	3,000	3,084	572,593	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	1,000	1,069	198,493	2041/ 4 /25
オランダ	国債証券	FRTR 5.750 10/25/32	5.75	1,900	2,217	411,645	2032/10/25
		NETHER 0.000 07/15/31	—	450	392	72,938	2031/ 7 /15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	100	93	17,330	2029/ 7 /15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	970	180,263	2040/ 1 /15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	100	98	18,237	2027/ 7 /15
スペイン	国債証券	NETHER 2.500 01/15/33	2.5	1,550	1,533	284,700	2033/ 1 /15
		SPGB 0.800 07/30/29	0.8	1,100	1,042	193,534	2029/ 7 /30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	1,550	1,539	285,830	2027/ 4 /30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	2,700	2,638	489,811	2030/ 7 /30
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	800	768	142,718	2033/ 7 /30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,200	3,447	640,032	2037/ 1 /31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,500	2,796	519,180	2041/ 7 /30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/27	0.8	300	295	54,782	2027/ 6 /22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	500	476	88,503	2029/ 6 /22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,000	646	119,996	2047/ 6 /22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,300	1,290	239,648	2034/ 6 /22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,000	1,140	211,783	2035/ 3 /28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	650	572	106,243	2031/ 2 /20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	100	98	18,240	2027/ 4 /20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	300	292	54,210	2028/ 2 /20

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第 23 期ー

銘柄				当 期 末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ				%	千ユーロ	千円		
オーストリア	国債証券	RAGB 1.500 02/20/47	1.5	900	611	113,590	2047/2/20	
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,200	1,153	214,087	2034/5/23	
フィンランド	国債証券	RFGB 3.000 09/15/34	3.0	1,000	999	185,568	2034/9/15	
アイルランド	国債証券	IRISH 2.600 10/18/34	2.6	1,000	975	181,029	2034/10/18	
ポルトガル	国債証券	PGB 2.875 10/20/34	2.875	1,500	1,485	275,749	2034/10/20	
合 計						14,219,851		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年2月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	14,219,851	98.1
コール・ローン等、その他	269,254	1.9
投資信託財産総額	14,489,105	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産（14,433,272千円）の投資信託財産総額（14,489,105千円）に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年2月9日現在、1ユーロ＝185.65円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,489,105,704
コール・ローン等	133,970,583
公社債(評価額)	14,219,851,684
未収利息	127,877,751
前払費用	7,405,686
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	14,489,105,704
元本	6,792,262,376
次期繰越損益金	7,696,843,328
(D) 受益権総口数	6,792,262,376口
1万口当たり基準価額(C／D)	21,332円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,066,527,184円、期中追加設定元本額は960,457,203円、期中一部解約元本額は1,234,722,011円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 4,979,228,551円
しんきん3資産ファンド(1年決算型) 637,236,686円
しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 557,092,574円
しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 198,157,585円
欧米ソブリン債ポートフォリオ 127,683,452円
しんきん世界アロケーションファンド 118,840,572円
しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 87,222,065円
欧州ソブリン債ポートフォリオ 86,800,891円

(注3) 1口当たり純資産額は2,1332円です。

○損益の状況 (2025年2月11日～2026年2月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	375,415,196
受取利息	375,407,831
その他収益金	7,365
(B) 有価証券売買損益	2,060,705,225
売買益	2,308,555,637
売買損	△ 247,850,412
(C) 保管費用等	△ 5,708,714
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,430,411,707
(E) 前期繰越損益金	5,495,204,588
(F) 追加信託差損益金	905,742,797
(G) 解約差損益金	△1,134,515,764
(H) 計(D+E+F+G)	7,696,843,328
次期繰越損益金(H)	7,696,843,328

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第23期

(決算日：2026年2月9日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第23期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投 資 制 限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベ ン チ マ ー ク		債 組 入 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	F T S E 米 国 国 債 イ ン デ ッ ク ス (ヘッジなし・円ベース)	期 騰 落		
	円	%	ポイント	%	%	百万円
19期(2022年 2 月 8 日)	18, 027	5. 2	415. 21	5. 8	98. 5	12, 921
20期(2023年 2 月 8 日)	18, 693	3. 7	433. 40	4. 4	98. 6	12, 701
21期(2024年 2 月 8 日)	21, 473	14. 9	497. 07	14. 7	98. 5	14, 047
22期(2025年 2 月10日)	22, 626	5. 4	519. 04	4. 4	98. 4	12, 626
23期(2026年 2 月 9 日)	24, 692	9. 1	563. 91	8. 6	98. 3	14, 367

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベ ン チ マ ー ク		債 組 入 比 率
	騰 落	率	F T S E 米 国 国 債 イ ン デ ッ ク ス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落	
(期 首)	円	%	ポイント	%	%
2025年 2 月10日	22, 626	—	519. 04	—	98. 4
2 月末	22, 566	△0. 3	525. 06	1. 2	98. 0
3 月末	22, 633	0. 0	522. 23	0. 6	98. 6
4 月末	21, 765	△3. 8	501. 23	△3. 4	98. 3
5 月末	21, 705	△4. 1	501. 78	△3. 3	98. 0
6 月末	22, 099	△2. 3	508. 62	△2. 0	98. 2
7 月末	22, 779	0. 7	527. 88	1. 7	98. 4
8 月末	22, 679	0. 2	520. 46	0. 3	92. 0
9 月末	23, 151	2. 3	527. 94	1. 7	98. 7
10月末	24, 101	6. 5	554. 13	6. 8	98. 6
11月末	24, 690	9. 1	564. 79	8. 8	98. 4
12月末	24, 602	8. 7	564. 60	8. 8	98. 5
2026年 1 月末	24, 099	6. 5	555. 95	7. 1	98. 4
(期 末)					
2026年 2 月 9 日	24, 692	9. 1	563. 91	8. 6	98. 3

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第23期の運用経過等（2025年2月11日～2026年2月9日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期中における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・当期初から2025年4月頃まで、米国の経済指標がインフレの沈静化傾向を示したことや、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が高まったことで、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・10月以降、高市新政権が掲げる積極財政による日本の財政悪化懸念が広がったことで、ドル高円安が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2025年5月に、米格付け会社ムーディーズが米国の長期発行体格付けを引き下げたことや、トランプ政権による大規模減税法案を受け、米財政状況への懸念が高まったことを背景に、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

＜投資環境＞

（米国国債市況）

当期初から2025年4月にかけては、米国の各経済指標がインフレの沈静化傾向を示したことや、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が高まったこと等を受け、米国債金利は低下しました。5月から9月は、米格付け会社ムーディーズが米国の長期発行体格付けを引き下げたことや、トランプ政権による大規模減税法案を受けた米財政悪化への懸念により、米国債金利が上昇する場面がありましたが、9月に発表された米雇用統計が労働市場の冷え込みを示す結果となったため、米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ期待が市場で高まり、米国債金利は低下しました。10月以降は、パウエルF R B議長が講演で量的引き締め（Q T）の停止を示唆したことや、次期F R B議長候補として利下げに前向きなハセット米国家経済会議（N E C）委員長が最有力との報道を受け、米国債金利は低下しました。その後、当期末にかけては、複数のF R B高官が今後の利下げに慎重な姿勢を示したことなどから米国債金利は上昇基調で推移しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初から2025年4月にかけては、トランプ政権の関税政策から世界的な景気減速懸念が高まり、リスク回避の動きが優勢になったことで、米ドル安円高が進行しました。5月から9月は、7月の参議院選挙で与党が過半数割れするとの見方から、円安が進行する場面もありましたが、F R Bや日銀の今後の動向を探る流れが市場で続いたこと等で、ドル円はやや上昇しながら、もみ合う展開となりました。当期末にかけては、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから、米ドル高円安基調で推移しましたが、2026年1月末に、日米の通貨当局が為替介入の準備段階にあたる「レートチェック」に動いたとの観測が広がり、日米の協調介入の可能性への警戒感が高まり、急速に円高が進む場面もありました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2026年2月9日現在におけるファンドの修正デュレーションは5.75年、時価最終利回りは3.97%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+9.1%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+8.6%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年2月11日～2026年2月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、23,072円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2025年2月11日～2026年2月9日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 20,796	千ドル 22,007
		特殊債券	7,057	—

(注1) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれていません。）

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月11日～2026年2月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 2 月 9 日現在)

外国公社債

(A) 外国 (外貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	96,550	89,938	14,116,674	98.3	—	48.8	33.2	16.2
合 計	96,550	89,938	14,116,674	98.3	—	48.8	33.2	16.2

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
- (注3) 単位未満は切り捨て。
- (注4) ー印は組み入れなし。
- (注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第 23 期ー

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券	T 4.000 11/15/35	4.0	2,800	2,754	432,346	2035/11/15
		T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	1,500	1,015	159,409	2041/ 8 /15
		T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	3,000	2,090	328,144	2046/ 5 /15
		T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	1,650	1,247	195,745	2047/ 2 /15
		T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	3,600	2,969	466,127	2042/ 2 /15
		T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,100	2,362	370,805	2048/ 5 /15
		T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,000	1,821	285,949	2039/ 2 /15
		T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	3,200	2,757	432,876	2044/ 2 /15
		T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,000	2,950	463,173	2040/ 5 /15
		T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	1,600	1,673	262,613	2037/ 2 /15
		T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	2,100	2,204	345,980	2029/ 2 /15
		T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,021	160,332	2026/11/15
		T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,395	219,057	2030/ 8 /15
		T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	4,000	3,503	549,875	2030/11/15
		T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	3,800	3,316	520,494	2031/ 8 /15
		T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	4,800	4,186	657,142	2031/11/15
		T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	3,000	2,759	433,191	2030/ 2 /15
		T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	1,000	999	156,906	2026/ 2 /15
		T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,680	577,621	2026/ 5 /15
		T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	4,600	4,300	675,000	2029/ 8 /15
		T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	4,600	4,502	706,757	2027/11/15
		T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	1,000	972	152,711	2029/ 2 /15
		T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	5,900	5,832	915,537	2028/11/15
		T-NOTE 3.500 02/15/33	3.5	2,700	2,620	411,359	2033/ 2 /15
		T-NOTE 4.250 08/15/35	4.25	5,500	5,528	867,731	2035/ 8 /15
		T-NOTE 4.250 11/15/34	4.25	1,100	1,109	174,133	2034/11/15
		T-NOTE 4.375 05/15/34	4.375	2,200	2,243	352,204	2034/ 5 /15
	特殊債券 (除く金融債)	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,947	776,619	2030/ 1 /24
		ASIA 4.125 05/30/2030	4.125	3,000	3,048	478,483	2030/ 5 /30
		IADB 4.125 02/15/29	4.125	1,400	1,420	222,897	2029/ 2 /15
		IADB 4.375 07/17/34	4.375	2,000	2,030	318,630	2034/ 7 /17
		IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	2,094	328,693	2027/11/24
IBRD 1.875 10/27/26		1.875	2,600	2,566	402,863	2026/10/27	
IBRD 4.000 05/06/2032		4.0	2,000	2,008	315,260	2032/ 5 / 6	
合 計				14,116,674			

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年2月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	14,116,674	96.1
コール・ローン等、その他	568,609	3.9
投資信託財産総額	14,685,283	100.0

- (注1) 評価額の単位未満は切り捨て。
(注2) 当期末における外貨建純資産(14,309,922千円)の投資信託財産総額(14,685,283千円)に対する比率は97.4%です。
(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年2月9日現在、1ドル＝156.96円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,685,283,598
コール・ローン等	429,148,973
公社債(評価額)	14,116,674,106
未収利息	130,564,158
前払費用	8,896,361
(B) 負債	317,482,992
未払金	317,482,992
(C) 純資産総額(A－B)	14,367,800,606
元本	5,818,918,562
次期繰越損益金	8,548,882,044
(D) 受益権総口数	5,818,918,562口
1万口当たり基準価額(C／D)	24,692円

- (注1) 当親投資信託の期首元本額は5,580,335,484円、期中追加設定元本額は1,158,826,954円、期中一部解約元本額は920,243,876円です。
(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
しんきん3資産ファンド(毎月決算型) 4,229,891,999円
しんきん3資産ファンド(1年決算型) 551,942,630円
しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型) 454,020,852円
しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型) 170,059,394円
米国ソブリン債ポートフォリオ 121,706,400円
欧米ソブリン債ポートフォリオ 110,353,654円
しんきん世界アロケーションファンド 103,956,432円
しんきん世界アロケーションファンド(積極型) 76,987,201円
(注3) 1口当たり純資産額は2.4692円です。

○損益の状況 (2025年2月11日～2026年2月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	379,027,594
受取利息	379,020,478
その他収益金	7,116
(B) 有価証券売買損益	828,888,128
売買益	899,901,838
売買損	△ 71,013,710
(C) 保管費用等	△ 3,100,710
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,204,815,012
(E) 前期繰越損益金	7,045,885,451
(F) 追加信託差損益金	1,470,473,046
(G) 解約差損益金	△1,172,291,465
(H) 計(D+E+F+G)	8,548,882,044
次期繰越損益金(H)	8,548,882,044

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)